

■ 連携の拠点の取組について

資料2

対象地域		堺市
実施主体	連携の拠点	一般社団法人 堺市医師会
	市町村医介連携事業（委託先）	一般社団法人 堺市医師会

（１）令和6年度の実績				
①会議の開催	②地域の資源の把握・関係機関との調整	③急変時対応等の体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
①在宅医療を行う医師の負担軽減を目的とした医師代診制の体制構築に関して関係者間で整理・方向性の統一を図る				
②被災者支援にかかる専門職の連携体制の構築に向け 各関係機関へのヒアリング調査及び合同会議の開催（ヒアリング調査10施設 合同会議 3月）				
④在宅医療スキルアップ研修会 医療用麻薬持続皮下注射に関する研修会（9月）緩和ケア病棟病院実習（12月～2月）				
⑤市民に対し映画を通じて人生の選択や終末期の意思決定についての理解を深める講演会（12月）				

（２）令和6年度の取り組みを通じた課題	在宅医療に必要な連携を担う拠点に求められる事項に沿って在宅診療医の代診チームの構築や医師向け研修会の開催、災害時連携、市民啓発を実施したが、どれも単年度での実施では大きな成果を上げることが難しい。行政の役割を明確化し、医師会と行政がどのように責務を分担するかを整理し長期ベースで事業展開をすることが重要だと感じる。特に市民へのACP普及啓発は始まったばかりであり、多くの課題がある。
---------------------	---

（３）令和7年度の実践計画				
①会議の開催	②地域の資源の把握・関係機関との調整	③急変時対応等の体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
①災害時における保健・医療・福祉の一元化にかかる関係機関 合同会議				
②在宅医療を行う医師のグループ体制 SACAY在宅医チームの構築				
③かかりつけ医のための病院情報シートの作成				
④在宅医向け病院実習（救急医療・地域連携室・病棟見学・手術支援ロボットの説明等）				
⑤市民向けACP普及啓発研修会の実施（「もしバナカードでもしものおはなし」）				

（４）令和7年度の進捗状況	①災害時における保健・医療・福祉の一元化にかかる関係機関合同会議を令和8年3月頃開催予定 ②在宅医療を行う医師のグループ体制（SACAY在宅医チーム）の構築 令和7年8月より運用開始している ③かかりつけ医のための病院情報シート（令和8年2月頃発行予定） ④在宅医向け病院実習 10病院26カリキュラムの実習スケジュール 68名の受講医師の選出を終え 順次実習先病院にて実施中 ⑤市民向けACP普及啓発研修会（「もしバナカードでもしものおはなし」（令和7年6月24日開催済））
---------------	--